

平成24年度温室効果ガス排出実績について

平成26年1月23日

独立行政法人製品評価技術基盤機構

当機構は、平成19年7月13日、「京都議定書目標達成計画」及び「政府がその事務及び事業に関し温室効果ガスの排出の抑制等のため実行すべき措置について定める計画」(平成19年3月30日閣議決定)に基づき、「独立行政法人製品評価技術基盤機構がその事務及び事業に関し温室効果ガスの排出の抑制等のため実行すべき措置について定める実施計画」(以下「実施計画」という。)を策定、平成19年度を基準として、平成22年度から平成24年度までの温室効果ガス総排出量の平均を4%以上削減することを目標とし、温室効果ガスの排出削減への一層の取組を図っているところです。

今般、平成24年度の電気事業者別排出係数が公表されましたので、当機構における平成24年度の温室効果ガス排出量の実績を下記のとおりお知らせいたします。

記

平成24年度温室効果ガス削減実績

製品評価技術基盤機構

		平成19年度実績	平成24年度実績	
	(単位)			(19年度比)
公用車燃料	kg-CO2	19,079	13,724	-28.07%
施設のエネルギー使用	kg-CO2	5,751,665	4,509,152	-21.60%
電気	kg-CO2	4,717,032	3,964,526	-15.95%
(電気使用量)	kWh	11,058,326	7,480,859	-32.94%
(電気の排出係数)	kg-CO2/kWh	電力各社による	電力各社による	
電気以外	kg-CO2	1,034,633	544,626	-47.36%
その他	kg-CO2	0	1,143	-
合計	kg-CO2	5,770,744	4,524,019	-21.60%

※平成24年度は、独立行政法人産業技術総合研究所より移管された特許生物寄託業務を、産業技術総合研究所の建物を使用して実施(H.24.4.1-H25.3.31)したことから、当該施設に係るエネルギー使用が増加(550,364)している。これを加えると平成19年度比は-12.07%となる。

また、平成24年度は、平成23年度から電気の排出係数が増加(例:東京電力H23=0.464%、H24=0.525%)しており、平成23年度の係数により算定すると、平成19年度比は-31.28%となる。

以上